

明治十九年「蓄音機の渡来」

この年初めて「蓄音機」渡来した。  
蓄音機といっても今と大違い。図のような蠟管レコードで、ゴム管を耳に挟んで聞く、頗る幼稚なものであったが、当時の人々にとっては魔か不思議な機械であった。



明治二十九年、ペスト世間を騒がす

恐るべきペスト菌が輸入され世間を騒がした。  
二年前に香港でペスト騒ぎがあった時に北里・青山両博士が同地にて病菌研究の結果、北里博士は遂にペスト菌を発見し、世界に名を挙げた、が氏も病菌のため、危うく九死に一生を得たほど危険であったという。警察では病菌源の「鼠」の捕捉に全力を挙げた。

